

## 宮古市田老地区の昼・夜間津波避難訓練に杉安副センター長及び学生団体 FROM が参画しました。

2025年3月1日、2日 開催

キーワード：防災訓練、地域防災、防災教育、地域連携、人材育成  
開催場所：道の駅たろう（岩手県宮古市）

2025年3月1日（土）及び2025年3月2日（日）に、岩手県宮古市田老地区においてNPO法人津波太郎主催の津波避難訓練が行われ、防災復興支援センター 副センター長 杉安和也（総合政策学部）及び学生団体FROMのメンバー13名が当日の運営支援に参画しました。

同企画は、NPO法人津波太郎が昭和三陸地震津波発生日から東日本大震災津波発生日までの期間を津波防災について考える津波防災フェア週間の一環として開催されたものであり、岩手県立大学防災復興支援センターは、この企画を共催し、防災訓練内容の監修を行っています。

3月1日（土）は東日本大震災津波（東北地方太平洋沖地震）の発生時刻(14:46)に合わせた昼間の津波想定避難訓練、3月2日（日）は昭和三陸地震津波の発生時刻(02:31)に合わせた夜間の津波想定避難訓練とし、両日ともに緊急地震速報が発令された想定で身を守り（シェイクアウト訓練）、その3分後にはさらに津波警報が発令され、近隣の避難場所である旧赤沼山高台への避難を行いました。昼間の避難では、避難行動要支援者にあたる近隣住民の方々と同行徒歩避難を体験しました。夜間の避難訓練では、懐中電灯やスマートフォンで足元を照らしながらの徒歩避難となり、昼間とは異なる夜間での避難の難しさを体感しました。また、杉安和也副センター長（総合政策学部）から、100円ショップでも購入可能な防災グッズを使い、屋外で朝まで命をつなぐ方法として、体温の保持のためのアルミブランケットや、簡易トイレの組み立て方を紹介しました。

学生団体FROMメンバーにとっても、改めて避難訓練の大切さを学ぶ機会となり、宮古市田老地区の皆様は、御礼申し上げます。岩手県立大学防災復興支援センターは、今後も地域防災に取り組む各団体と連携しながら、地域防災力向上に資する活動に努めて参ります。

### ■概要：

- (1) 日時 2025年3月1日 14:15～15:15  
2025年3月2日 2:00～5:00
- (2) 会場 岩手県宮古市 道の駅たろう
- (3) 対象 宮古市田老地区の住民の皆さん
- (4) 参加者数 のべ60人程度



写真 1・2 昼間津波避難訓練の様子



写真 3～6 夜間津波避難訓練の様子